



野鳥 サンコウチョウ

全長：全長45cm(オス)、17.5cm(メス)
小さな冠羽があり、目の周りとかくちばしはコバルト色をしています。夏鳥として渡来し、平地から低い山のうす暗い林で繁殖します。オスの尾は長いのですが、秋に渡るとき、長い尾は無くなっています。

とうめい news

2021.6.1
Vol.238

〒248-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者：河野 昌史
編集責任者：和田 博貴
印刷：(有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

40周年を迎えて—小さな志—

社会医療法人社団 三思会
会長 中 佳一

TOPICS

社会医療法人社団三思会は6月1日、創立40周年を迎えることが出来ました。創立者の一人として、また、今日まで経営、管理、診療の役割を荷って来た者として、創立から現在まで、患者さんをはじめ全ての関係していただいた皆さんに厚く感謝申し上げます。

40年前、60床で本厚木駅から約2km離れた水田の中でポツンと開院した東名厚木病院は創立者3名（医師2名、事務1名）を含め職員約25名でスタートしました。おかげさまで、現在当法人は、常勤職員約1,000名が在籍し、保健・医療・介護・福祉複合体として17事業施設を展開するまで成長させていただきました。

私共創設者は厚木市とは、地縁、血縁、学縁、職縁の全くない中での開業でありました。60歳台以上の方は記憶にあるかと思われませんが、私共の世代は、時代遅れの大学管理運営の矛盾が紛出した“大学闘争”の世代でありました。特に当時の医学部のインターン制度は、国家試験受験資格要件として卒後1年間の無資格無給研修制度であり、それに反対する運動が極点に到達した時代でした。当時のインターン制度拒否、国家試験ボイコットを経て、私共の世代を中心に数多くの医学部卒業生が、大学医局講座入局の「普通」の医師としての人生コースを拒否し、在野（大学関連施設以外）、地域への行動をとりました。

私も理解いただいた地方の病院で研修し、「地域医療」を開拓推進する道を選択しました。いくつかの地域医療の先進病院で修練を積むと共に、専門病院での研鑽もつみました。普通の道と違う

道を選択した時点で、私はある「夢」そして「志」がありました。地方でそのまま地域医療に貢献する道も選択肢としてありましたが、全くの地縁、血縁、学縁、職縁のない所で、かつ大都市近郊で、問題になっていた「救急医療」を軸にどのような「地域医療」が裸一貫から展開出来るかチャレンジしたいという「志」でありました。

三思会の大方の職員は、この方針を愚直に守り、発展させ今日まで推進継続していただいております。

創立40周年を一つの節目として、創業の思いを一つ一つ点検し、さらに創造発展させる、新たな松明（たいまつ）をかかげ、前進していただけると考えます。

コロナ禍の下、先行きが不透明な状況であります。この様な時こそ組織の存立意義、基盤が問われると考えます。職員一人一人が保健・医療・介護・福祉にかける思いを再確認し、さらに継続発展させる「志」を掲げ、時代を開拓しチャレンジする事をお誓いし、40周年のご挨拶とします。

